

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬ゾコーバ®の 緊急承認制度に基づく製造販売承認取得について

### 【概要】

北海道大学（北海道札幌市、総長：寶金清博）は、塩野義製薬株式会社（大阪市中央区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木功）との共同研究により創製された COVID-19 治療薬である 3CL プロテアーゼ阻害薬 ゾコーバ®（開発番号：S-217622）が、2022 年 11 月 22 日付で厚生労働省より「SARS-CoV-2 による感染症」の適応で、緊急承認制度に基づき製造販売承認されたことをお知らせいたします。

3CL プロテアーゼ阻害薬 ゾコーバは、本学人獣共通感染症国際共同研究所 分子・病態診断部門 澤 洋文 教授（2022 年 10 月から北海道大学 ワクチン研究開発拠点長兼任）、シオノギ抗ウイルス薬研究部門 佐藤彰彦 客員教授らのグループと塩野義製薬株式会社の共同研究により見出された治療薬です。

### 【ゾコーバ®について】

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は 3CL プロテアーゼというウイルスの増殖に必須の酵素を有しており、ゾコーバは 3CL プロテアーゼを選択的に阻害することで、SARS-CoV-2 の増殖を抑制します。非臨床試験においては、各種変異株に対する抗ウイルス活性も確認されております。

### 【共同研究の方針と経緯】

北海道大学と塩野義製薬株式会社は 2018 年 4 月に北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所にシオノギ抗ウイルス薬研究部門を産業創出講座として設置されました。

世界にはデング熱、エボラ熱、ラッサ熱、黄熱病等、様々なウイルス感染症が発生・流行していますが、これらの感染症に対して有効な治療薬は、殆どありません。

国内有数の BSL-3 実験施設を有し、様々なウイルスが使用可能である北海道大学の強みを生かし、共同で新たな化合物スクリーニング系を構築。また、これらのスクリーニング系を用いて、塩野義製薬株式会社、北海道大学、他の研究機関が保有する化合物の中から、新興・再興感染症ウイルスに効果がある化合物を見出し、日本発の新たな治療薬を世界の患者に届けることを究極の目標として北海道大学は塩野義製薬株式会社と共同で創薬プロジェクトを開始しました。

北海道大学と塩野義製薬株式会社は、抗インフルエンザウイルス薬ラピアクタ、ゾフルーザなどの抗ウイルス薬の共同研究を 10 年以上の期間にわたり進めています。

塩野義製薬株式会社はこれらの研究で習得した様々な抗ウイルス薬研究のノウハウ、合成した化合物群を応用し、新興・再興感染症の治療薬の創製を目的として、研究場所を北海道大学とする新興・再興感染症研究チームを 2013 年に発足しました。同研究チームから、ゾコーバを含む抗ウイルス薬の共同研究の成果について、北海道大学と共同で論文を発表しています。

## 【関連論文】

- (1) Sasaki M et al. S-217622, a SARS-CoV-2 main protease inhibitor, decreases viral load and ameliorates COVID-19 severity in hamsters. Sci Transl Med. 2022 Nov 3:eabq4064  
(<https://doi.org/10.1126/scitranslmed.abq4064>)
- (2) Toba S et al. Identification of cap-dependent endonuclease inhibitors with broad-spectrum activity against bunyaviruses. Proc Natl Acad Sci USA. 2022 Sep 6;119(36):e2206104119.  
(<https://doi.org/10.1073/pnas.2206104119>)

## 【人獣共通感染症国際共同研究所について】

近年、世界では様々な新興・再興ウイルス感染症が流行しており、現在パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症（COVID-19）に関しては、人々の健康のみならず、経済活動にも大きな影響を及ぼしています。多くの新興・再興ウイルス感染症は、動物からヒトに感染する人獣共通感染症であり、これらの感染症について、事前に予測し、予防ワクチン、治療法を確立しておくことを目標に2005年（創立者 喜田 宏）に設立されました。

## 【塩野義製薬株式会社について】

代表者：手代木功（代表取締役会長兼社長 CEO）

本 社：大阪府大阪市中央区道修町 3-1-8

概 要：同社は、取り組むべきマテリアリティ（重要課題）として「感染症の脅威からの解放」を特定し、治療薬の研究・開発だけにとどまらず、啓発・予防・診断並びに重症化抑制といった感染症のトータルケアに対する取り組みを進めています。感染症薬のリーディングカンパニーとして、新型コロナウイルス感染症の早期終息による社会の安心・安全の回復に貢献するために、新規の治療薬、ワクチン等の開発に加えて既存の化合物の価値を最大化し、より多くの患者さまにヘルスケアソリューションを提供できるよう、外部パートナーとの連携を含めた取り組みを強化していきます。

U R L : <https://www.shionogi.com>

## お問い合わせ先

北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 シオノギ 抗ウイルス研究部門（産業創出部門）

客員教授 佐藤彰彦（さとうあきひこ）

T E L 011-706-5185 メール [akihiko.sato@shionogi.co.jp](mailto:akihiko.sato@shionogi.co.jp)

U R L <https://www.czc.hokudai.ac.jp/pathobiol/shionogi/>

## 配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール [jp-press@general.hokudai.ac.jp](mailto:jp-press@general.hokudai.ac.jp)